

当日は地域住民約15人が参加。例年であれば200個ほど用意されるカンデッコも今年は10分の1の約20個でした。中里



新型コロナウイルス感染症の収束を願って。

2月15日、松木内中里地域の小正月行事「中里のカンデッコあげ」が塞之神堂前で行われました。カンデッコあげは、ホオノキで作った小型のくわ（カンデッコ）とクルミの木で作った男根を締め縄の両端に結んで一対にしたものを、豊作や子宝、家内安全を祈ってご神木のカツラの木に投げかけます。うまく枝にかかると願いが叶うと言われています。

あげ保存会の門脇篤美会長は「いつもは観光客も参加したり、飲食を提供したりしているが、2年連続で地元住民のみでの開催となった。早くコロナが収束することを願っている」と話しました。ご神木の枝に引っかかるように高く投げるにはコツが必要のようで、何度も挑戦していた門脇大さん（松木内小）は「また最近コロナが流行り始めてきた。早くおさまるようにと願いを込めた」と話しました。

中里のカンデッコあげ

願いが叶いますように



表紙の写真から

願いよ夜空へ届け
上松木内の紙風船上げ

2月10日、紙風船館前広場で「上松木内の紙風船上げ」が行われました。観光行事としては開催中止となりましたが、伝統を絶やさないと地元の7集落が集まり、12個の紙風船が各自の思い、願いを乗せて夜空に上がりました。

上松木内紙風船上げ保存委員会の阿部明雄会長は「昨年松木内中学校のグラウンドで行われた紙風船上げとは違い、今回は本来の姿である夜空に向かって飛ばしたかった。地域の伝統を守りたいという思いが強く、これからも少数でもいいので上げ続けたい」と話しました。

神事で「五穀豊穡」や「無病息災」を祈願したあと、間隔を開けながら打ち上げられた紙風船。打ち上げている最中に内陸線が通過する場面も見られ、乗客を魅了しました。

この日会場を訪れていた地元の方にお話を伺うと「新型コロナウイルス感染症の影響で開催の判断や作成時間が少なく大変だったと思う。空高く上がる紙風船の姿を



伝統をつなぎ、今年は夜空に打ち上げられました。

見ることができてうれしかった」とマスク越しに笑みを浮かべながら話してくれました。

なお、当日の様子を配信したものをアーカイブとして公開しています。詳しくは仙北市ホームページ (<https://www.city.semboku.akita.jp/event/event.php?id=1148>) をご覧ください。



アーカイブはこちら



火の輪に願いをこめて

角館の火振りかまくら

2月14日、角館町の小正月行事「角館の火振りかまくら」が行われました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、主会場での観光客の火振り体験を中止に。さらに、例年であれば30会場以上での実施も今年は21会場となり、規模を縮小しての開催となりました。

火振りかまくらは、長さ1メートルほどの縄をつけた炭俵に、かまどの火をつけて自分の体の周囲を振り回しながら、無病息災や家内安全を祈る行事です。あたりが



暗闇に浮かび上がる火の輪が幻想的な光景を作り出します。

暗闇に包まれる18時過ぎ。各会場では地元の方々を中心に、火振りをする姿が見られました。次第に大きくなっていく炎が輪を描き、暗闇に次々と火の輪が浮かび上がりました。



武家屋敷通りには角館まちづくり連営体の皆さんが中心となり「疫病退散」を祈願したミニかまくら約250個が設置されました。

角館 三二劇場

昔語り／ サクソフオンコンサート

昔話と音楽が聴衆を魅了

2月27日、角館庁舎で田沢湖がたりの会による「昔語り」と飯塚雅幸さんによる「サクソフオンコンサート」が行われました。二本立てで行われた今回の角館三二劇場。はじめに田沢湖がたりの会が辰子姫伝説や角のたてた町、山姥の錦など計8話の昔話を朗読。方言を交えながらの内容は、どこか懐かしく、また温かく感じられ、訪れた方々は聞き入っていました。

同会の藤原まり会長は「コロナの影響でこの2年は人前で朗読する場がなかった。このような緊張感のある中で話すことが大事だと改めて思った。会にとってもとてもよい機会になった」と話しました。

続いて飯塚雅幸さんによる「心が和む」サクソフオンコンサートと和と洋の調べが行われました。東京新宿コマ劇場などでフルバンドを中心に活動し、ヤマハ音楽器全国大会の特別賞など数々の賞を受賞する飯塚さん。ベニーグッドマンの「メモリーズオブユー」から始まったコンサートは、シャンソンや演歌、歌謡曲など幅広いジャンルの名曲を演奏し、華やかで響きの豊かな音色が会場を包みました。

また、飯塚さんの奥様で日本舞踊藤間流師範「藤友会」会主の藤間知枝さんがサクソフオンの演奏に合わせて踊りを披露、和と洋の融合が聴衆を魅了しました。全13曲の演奏を終えるとアンコールの声が上がリ、飯塚さんは



飯塚さん（左）の演奏に合わせて踊りを披露する藤間さん（右）。



飯塚さんの力強い演奏に訪れた方は酔いしていました。

さらに1曲披露。心が和む音色が最後まで響き渡りました。演奏を終えた飯塚さんは「このような機会をいただき、とてもありがたい。たくさんのお客さまに喜んでいただけてとても嬉しい」と笑顔で話しました。また、藤間さんも「初めての方にも見ていただき、とてもよかった」と話しました。



相談 Consultation

無料法律相談

市では、法律問題でお困りの方が、お気軽に法律の専門家（＝弁護士）に相談できるよう、秋田弁護士会のご協力をいただき、次のとおり無料法律相談を開催します。

- 【日時】3月30日 13:30～
- 【場所】角館交流センター 第2研修室
- 【相談員】河村憲史弁護士
- 【相談内容】▶一般法律相談（法律問題全般のご相談）▶サラ金・クレジットなど多重債務のご相談 ▶中小企業・個人事業に関するご相談 ▶高齢者・障がい者に関するご相談 ▶交通事故に関するご相談 ▶子どもに関するご相談
- 【申込方法】総務課総務係に電話で予約してください。
- 【予約受付時間】平日 9:00～17:00
- 【相談時間等】1日先着4人。1人30分以内。
(①13:30～14:00 ②14:05～14:35 ③14:40～15:10 ④15:15～15:45)
- 【その他】相談がスムーズに進むよう、あらかじめ話の内容をまとめてきてください。相談に必要なと思われる資料がありましたらお持ちください。
- 【問合せ】仙北市総務課 ☎43-1111

相談 Consultation

令和4年第3回 お薬相談会

今、服用している薬のこと、ご家族が服用している薬のことなどお薬の相談会を行います。家に残っている薬の整理(持参した場合) や家庭用医薬品などお気軽にご相談ください。

- 【日時】3月22日 15:00～16:30
- 【場所・問合せ】クオール薬局田沢湖店 ☎43-9189

お知らせ Information

角館町平福記念美術館 臨時休館のお知らせ
角館町平福記念美術館は、施設設備改修工事に伴い、当面の間臨時休館します。ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
【休館期間】1月26日 4月16日 4月17日 4月18日 から企画展「秋田の四季～春夏秋冬～」を開催予定です。
【問合せ】角館町平福記念美術館 ☎54-3888

新型コロナウイルス関連情報 STOP COVID-19

新型コロナウイルス自宅療養者へ給付金を支給します

秋田県では、新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅療養をされた方に給付金（1人あたり3万円）を支給します。詳しくは、県ホームページをご覧ください。
【問合せ】秋田県新型コロナウイルス感染症自宅療養者給付金事業コールセンター ☎0120-515-153 (9:00～18:00) ※土・日曜日、祝日を含む。



イベント Events

秋田新幹線「こまち」開業25周年記念イベント開催

今では仙台、東京との移動手段として欠かせない存在の秋田新幹線「こまち」ですが、3月22日めでたく開業25周年を迎えます。それに合わせ、記念イベントや各種企画が開催されます。主な内容は次のとおりですのでぜひお運びください。

内容	日時	場所
①過去の新幹線こまちポスター展示	3月19日 田～4月10日 回 9:00～17:30 (休みなし)	仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」
②角館高校飾山囃子部による郷土芸能披露	3月19日 田(上り10:54・11:56、下り10:39・11:41・12:18)	角館駅
③祝こまち25周年 New Days (ニューデイズ) 駅弁まつり	3月19日 田 10時以降準備ができ次第販売	角館駅「NewDays 角館駅」※普段販売していない駅弁を販売予定です。
④角館こども園・だしのこ園の園児による「新幹線こまち」塗り絵展示	4月9日 田～5月8日 回	《角館こども園》休憩所スタジオ (秋田内陸縦貫鉄道角館駅隣)・《だしのこ園》田沢湖駅2階
⑤ステーションピアノによる演奏会	3月19日 田 10:00～12:00	田沢湖駅1階交流ホール
⑥日本郷土芸能協会による郷土芸能披露	3月19日 田(上り9:09・10:14・11:08・12:12、下り9:21・10:25・11:59)	田沢湖駅

そのほか、3月19日午前中、田沢湖駅・角館駅では、新幹線こまち到着時に横断幕や手旗でお出迎えします。どなたでも参加できますのでお気軽に両駅へお越しください。
※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催内容を変更または中止する場合があります。 ※列車時刻は変更となる場合があります。
【問合せ】▶仙北市観光情報センター 角館駅前蔵 ☎54-2700
▶仙北市田沢湖観光情報センター フォレイク ☎43-2111



お知らせ Information

令和4年度 羽後交通乗合バスダイヤ改正のお知らせ

路線名	改正内容
角館大曲線	角館営業所発6:50、大曲バスターミナル発8:15の1往復を土日祝日運休とする。
角館六郷線	全便土日祝日運休とする。
角館田沢湖線	▶角館営業所発9:45・12:15・15:00、田沢湖駅前発11:00・13:30・16:05の3往復を土日祝日運休とする。▶角館営業所発13:25を13:15に変更する。▶田沢湖駅前発17:30を17:15に変更する。
釜畑線	全便土日祝日運休とする。
乳頭線	田沢湖駅前発18:20アルパこまきさ行き往路1便を削減する。
田沢湖一周線	田沢湖駅前発6:55、17:55の2便を土日祝日運休とする。(※17:55は通年)
八幡平線	玉川温泉から八幡平頂上を休止とし、4月16日 田～11月30日 田までは全便玉川温泉を起終点とする。(4月16日～10月16日は6往復、10月17日～11月30日は5往復)

【問合せ】羽後交通(株) ▶角館営業所 ☎54-2202 ▶田沢湖営業所 ☎43-1511

新しい主任児童委員を紹介します

主任児童委員は、民生委員・児童委員の中で児童福祉を専門に担当し、活動します。
令和4年1月17日付けで、厚生労働大臣から委嘱状が交付されました。白岩地区を千葉玲子さんが担当します。地域の皆さんの福祉のため活動されますので、お気軽にご相談ください。



白岩地区担当 千葉玲子さん ☎(54) 1626

栄光・表彰 ～輝くとき

地域おこし協力隊 東風平さん銀賞受賞!

ドチャベン2021 ビジネスプラン発表会

2月20日、秋田県移住・定住促進課の主催で、地域資源を活用した起業による移住支援「ドチャベン」(＝土着ベンチャー)事業の成果となるビジネスプランの発表会がオンラインで開催されました。仙北市地域おこし協力隊の東風平さんが出場し、「地元の子も達が観光客と「出会う」体験特化型の農家民宿を作りたい」というタイトルで発表をしました。内容は、農家民宿を事業継承したうえで、体験型の観光プランを提案するだけでなく、県外・海外の観光客との交流を通して、受け入れる側の仙北市の子どもたちが視野を広げるといったものでした。審査員から、コロナ禍の逆風下で観光業に取り組み点や後継者がいない農家民宿の事業継承という点が評価され、出場全8チームのうち2位となる銀賞を受賞しました。受賞後、東風平さんは「後継者に悩む農家民宿の受け皿となるよう、複数店舗展開も視野に入れた挑戦したい」と話しました。



東風平さんの発表の様子。

仙北地域振興局「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業 土屋和久さんと特定非営利活動法人 角館里山再生プロジェクトが受賞

2月7日、仙北地域振興局において令和3年度「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業表彰式が行われ、仙北市からは個人で土屋和久さん、団体では特定非営利活動法人角館里山再生プロジェクトがこれまでの活動実績が認められ表彰されました。「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業は、よりよい地域をつくるため、地域固有の様々な課題の解決に向けて、自立的・主体的な活動を行っている方々を「元気なふるさと秋田づくり」の実践者として表彰し、この表彰を通して地域づくり活動の活性化を図り、多くの県民がこうした活動に参画できるように普及・啓発を図ることを目的としています。

土屋和久さんは、平成22年に県外から移住し、観光PRや地域活性化のための活動や「仙北市移住者の会」を立ち上げ移住者の支援をしているほか、「伝統野菜「田沢ながいも」を栽培し、収穫体験会やYouTubeで地域の魅力を発信しています。また、角館里山再生プロジェクトは、

クトは、地区の里山の再生・保全のための活動を行っており、山の管理・保全にとどまらず里山をツールとした都市交流や関係人口の増加を目指した里山トレッキング、大曲支援学校せんぼく校とともに地域交流を深める環境野外活動に取り組んでいます。土屋さんは「移住して幸せな暮らしをしていることを多くの人に伝えたい」、角館里山再生プロジェクトの佐々木正己理事長は「今年の活動の方向性がよかったと評価されたことでまた一歩前進の気がします。里山での活動をこれからもがんばりたい」と話しました。



左から角館里山再生プロジェクトの佐々木誠副理事長、同佐々木正己理事長、仙北地域振興局の高橋雅昭総務企画部長、土屋和久さん。